

「学習と部活動の両立」に取り組む、大村高校の様子をお知らせします。



大高インフォメーション

ホップステップ **JUMP!**

〒856-0835 長崎県立大村高等学校 大村市久原1-591 TEL.0957(52)2660

保護者の方へ

http://www.news.ed.jp/omura-h/ メールメイトにご加入ください。

大高生

全国の舞台での輝き!!



大村高校理科部



永尾 真臣さん



永井 陽莉さん 高原璃々華さん



河内 祥吾さん

スーパーサイエンスハイスクール
生徒発表会

JST理事長賞(全国2位) 大村高校理科部

全国高等学校総合文化祭

自然科学部門(物理) 最優秀賞 大村高校理科部
弁論部門 優良賞 永尾 真臣(波佐見中出身)

NHK杯全国高校放送コンテスト

アナウンス部門 優良賞 永井 陽莉(小野中出身)
入選 高原璃々華(西諫早中出身)

全国高等学校総合体育大会

陸上競技 男子400m 8位入賞 河内 祥吾(郡中出身)

今、求められている学び

長崎県立大村高等学校
校長 原 昌 紀

秋も深まり、朝晩には肌寒さを感じる季節となりました。コロナ禍の中ですが、大高生は、「両道不岐」のもと、学業や部活動、生徒会活動に専念しています。大会の一部中止や延期等、教育活動の制限を受ける中でも目標に向かって、今自分たちがやるべきことをしっかりとやり遂げられるよう、前へ進み続けて欲しいと思います。

さて、来年度から施行される新学習指導要領において、「探究的な学び」がより重視されます。本校では、SSHの取組を基軸に探究活動を実践していますが、再来年度、本校を含む県内5校の高校に「文理探究科」が設置されることからわかるように、現在の若者には、知識・技能の習得や活用に加えて、探究的な学びが求められるようになるのです。



高校生にとって、学校は将来の自分にとって大切な「何か」に出会える場でもあります。学校の授業での学びは、主に教科書を使いながら進んでいきます。教科書に書いてあることは、既にわかっている事実とか、先人達が発見、証明した定理や法則などいわば「過去」を学んでいるようなものです。これからの社会を担う皆さんにとって大切なことは、「過去」を学ぶことだけでなくとどまらず、「今」を知り、自分の「将来」や社会の「未来」を考えることです。ニュースに耳を傾け、新聞に目を通し、現在の社会情勢や問題になっていることを知る、授業で学習したこととあわせて、自分が気になったことや腑に落ちない問題があれば、とことん調べたり、仲間と議論する、そういった探究的な学びの中に、自分の将来にとって大切な「何か」をつかむ偶発的な出会いが埋もれているのです。

皆さんの学びが、自分の人生やより良い社会の創造につながるものになることを期待しています。

スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会

令和3年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会において、本校の「落ち葉に宇宙の神秘を見る」が、国立研究開発法人科学技術振興機構理事長賞（全国2位）と生徒投票賞（第1部に参加した224校の生徒の投票により選出）をダブル受賞しました。

この発表会は、全国のSSH指定校等の生徒が日頃の研究成果を発表し、生徒の科学技術に対する興味・関心を一層喚起するとともに、SSHの成果を広く発信することを目的として開催されるものです。今年度は第1部として、8月4日（水）・5日（木）に神戸市国際展示場にて224校がポスター発表を行い、第2部で発表する代表6校を選出しました。

第2部は8月20日（金）にオンラインで開催されました。代表校の研究はその構成が緻密で、高校生の課題研究の模範となるものばかりでした。そのような中で、全国2位に相当する賞をいただいたことは、後に続く1、2年生の大きな励みになったものと思います。

発表の様子は以下の2次元コードからご覧いただけます。



科学探究・3年生課題探究発表会

7月17日（土）、理科部の生徒が取り組んできた科学探究と3年生がSS探究として授業で取り組んできた課題探究の発表会を開催しました。年中はポスター発表を、午後からは運営指導委員や外部の方を招いての口頭発表を行いました。大村市内の中学生とその保護者の皆様にも40名近くの参加を頂きました。おかげさまで、理科部生徒、一般生徒ともしっかりと自分たちの研究・探究の成果を内外に伝えることができました。ありがとうございました。

ポスター発表は本校と大村市コミュニティーセンターでの分散開催、口頭発表については対面での参観と会場と学校（24教室）をZoom

で結ぶオンライン参観というハイブリッド方式を採用しました。本校としては、このような大規模なオンライン配信ははじめての経験で、さまざまな不安がありましたが、会場スタッフの方々をはじめ、皆様のご協力のおかげでスムーズに実施することができました。



SS 探究IIA：地学研修講座

7月26日（月）、2年生地学探究科を対象に九州大学共創学部より足立達朗先生をお招きし、地学研修講座を開催しました。

足立先生は、岩石学、地質学を専門とされており、南極や中央アジアなどを調査対象として、大陸の形成・成長過程や大陸衝突域における変動現象を解明する研究に従事されています。今回は、岩石についての基本的事項から、プレートテクトニクス、グランドキャニオンの形成過程などを講義していただきました。さらに、40.2億年前に形成され

た地球最古の岩石も持参いただき、直接手で触るなど、他では決してできない貴重な体験をすることができました。

今回の講座を通じて、何気ない岩石や地形にも多くのドラマや歴史が隠れていることを知ることができ、生徒のもの見方は大いに高まりました。



熱心に講義を聴く生徒

夏の部活動成績

山岳部 (クライミング班)	第76回国民体育大会第41回九州ブロック大会 リード競技 3位・ホルダリング競技 第2位・最終順位 第2位 永田 穂乃 (西大村中) シーハットカップ2021 フリークライミング大会 ピギナークラス	優 勝 田中 美穂 (桜が原中) 第3位 川添 史龍 (大村中) 第2位 高柳 結希 (北諫早中)
	エキスパートクラス	
剣道部	第76回国民体育大会第41回九州ブロック大会 長崎県少年女子	第7位 本城ありさ (川棚中)
吹奏楽部	長崎県高等学校音楽コンクール 金管楽器部門 (Tube) 声楽部門 ピアノB部門 長崎県吹奏楽コンクール	金 賞 出口 優芽 (大村中) ※九州大会出場 銀 賞 江藤 優美 (郡中) 銅 賞 古賀千奈津 (郡中) 金 賞 大村高校吹奏楽部
陸上部	第76回国民体育大会長崎県予選会 少年A男子300m	第1位 河内 祥吾 (郡中)
水泳部	長崎県高等学校新人体育大会水泳競技 男子200m平泳ぎ // 男子100m平泳ぎ 2021年度長崎県選手権水泳競技大会兼第76回国民体育大会 長崎県予選会 男子200m平泳ぎ	第1位 保利 瞬汰 (西大村中) 第2位 保利 瞬汰 (西大村中)
ソフトテニス部 (女子)	大村市松崎杯クラブ対抗選手権大会 男子Bクラス	優 勝 大村高校ソフトテニス部 (女子)
数理探究科	県理数科高等学校課題研究発表大会 優秀賞 太田 誠也 (富瀬中) 永尾 知晴 (玖島中)・本村かんな (西大村中) WWL長崎フォーラム 優秀賞 本多 朝乃 (桜が原中)・松村 香濃 (郡中)	「大村湾新産地におけるオキヒラシノミガイの生態」 「Arduinoを用いた自作機器による反発係数の精密測定」 「デンプンによってアイスは溶けにくくなるのか?」

数理探究科活動報告

水環境講座

9月16日(木)数理探究科1年生は、地域連携講座「郷土の自然を探る～水質調査～」を実施しました。長崎大学環境科学部 飯間雅文准教授にお越しいただき、本校を取り巻く環境(水環境)について、フィールドワークを行いました。

水質調査は、CODなど4種類のバックテストを行い、見た目は濁って汚そうな水が、実は澄んでいる水よりきれいだということを数値的に考える体験や、顕微鏡を用いて採取した水のプランクトンを調べる実習を行いました。



English Fair

7月5日(月)に数理探究科2年生、7月19日(月)に1年生を対象として、English Fairを開催しました。本校と大村市教育委員会のALT9名の協力のもと、英語でのアクティビティや、ALTの先生方の母国についてポスターを作って英語でプレゼンテーションを行う活動など、英語漬けの半日を過ごしました。それぞれが自分の英語力を駆使して楽しみながら積極的にコミュニケーションを取り、今後の英語学習のモチベーションにつながったようです。



家政科活動報告

ウォーキング講習

8月26日(木)家政科3年生を対象に、スターライトスクールから松瀬里奈先生をお迎えして、五教祭のファッションショーに向けてウォーキング講習を行いました。ヒールを履くのもなれない中、姿勢を保ちながら歩くのはとても難しいと言いつつ、ファッションショーで皆さんに喜んでもらえるように練習を重ねました。最後は自分で作ったドレスを着てウォーキングの練習をしましたが、制服よりもさらに歩くのが難しいようでした。



ボランティア講習

7月7日(水)大村市ボランティアセンターより田川瑞穂氏においていただき、私たち家政科1年生はボランティア講習を受講しました。私は、ボランティア活動が広く認知されるきっかけとなったのは阪神・淡路大震災だということを初めて知りました。また、自分から自発的に活動する「ボランティア」に対し、奉仕活動である「サービス」の2つの違いについて知ることができました。講座の中で一番心に残っているのは、「あいさつもボランティア」ということです。私は今まで、ボランティア活動をしてみたいという気持ちはあったのですが、なかなか勇気が出ずにはいませんでした。今後はこういう小さいことからどんどん挑戦していきたいと思いました。



家政科1年 赤尾日菜乃(桜が原中)

クラスマッチ 7/15(木)・16(金)

今年のクラスマッチは、昨年と同様、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ドッジボールに加え、室内種目オセロ、百人一首、将棋の全7種目で行われました。新型コロナウイルス感染予防対策のため、応援は制限がかかっていましたが、全競技で学年の隔てなく、熱い闘いがみられました。できる限り「生徒主体」の開催を目指して準備し、私自身、無事に開催することができるか緊張していましたが、先生方や生徒会総務に助けをもらい、当日はたくさんの楽しい姿が見られてとても嬉しかったです。今回のクラスマッチでは賞をとれなかったクラスも、冬のクラスマッチではまた違った結果になると思います。次回は皆さんに楽しんでもらえるよう頑張ります!

生徒会総務 福田里香(玖島中)



★ 体育祭 9/21(木) ★



体育祭実行委員長 田代雄喜 (西大村中)

新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限される中、体育祭の開催に向けて協力してくださった先生方、地域の方々に心から感謝します。規模を縮小しての開催となりましたが、大高生にとっては最高の体育祭になりました。僕にとっても最高の思い出であり、青春です。また、体育祭実行委員長になり、先頭に立つ大変さや仲間と協力することの大切さなど、多くのことを学びました。これらを通して今後の生活にも活かしていきたいと思えます。

1・2年生の皆さんには、来年、再来年と体育祭を通して、大村高校の伝統を繋いでほしいです。そして、今年の体育祭を超える素晴らしい体育祭を作り上げてください。3年生はこれから勉強に忙しくなります。「受験は団体戦!」というように、全員でこの期間を乗り越えていきましょう。

赤ブロック団長 本村元輝 (大村中)

私が団長になって、最初は不安だらけでうまくいくのか心配でした。しかし、体育祭が近づくにつれて、ブロックの結束力も強くなり、短い練習期間でしたが、いいものを自分たちの手で作ることができた満足感と達成感に打ち溢れました。3年生の皆さん、1・2年生、先生方、そして保護者の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。



黄ブロック団長 濱田拓郎 (大村中)

練習では全学年がそろって活動することはありませんでしたが、当日、リレーなどを全力で応援し、全員で体育祭を成功させようとする皆さんの姿に、大高生の底力を感じました。私は人生初の団長ということで緊張しましたが、多くの人に支えられて何とかなり遂げることができました。3年生は1週間という短い練習期間でしたが、頑張ってリーダーについてきてくれてありがとう。装飾、応援、大高体操、そして総合優勝という最高の結果を残すことができました。全員の協力がなければ成しえなかったと思います。ありがとうございました。



青ブロック団長 福田祐一郎 (彼杵中)

18年間生きてきて、初めてこのような大人数をまとめる重役を担い、大変よい経験がすることができました。応援では、みんなをまとめたり話をしたりすることがとても大変で、副団長や応援リーダーにたくさん助けをもらいました。みんながたくさん意見を出し、協力してくれたから上手くいったと思います。リーダーも、その他のみんなも、僕についてきてくれて本当にありがとうございました。

緑ブロック団長 山下凌矢 (桜が原中)

今回の体育祭は1・2年生と関わる機会が少なく、団としてまとめるのが不安もありましたが、準備期間から当日の片づけまでそれぞれが役割を果たしてくれたことで、良い体育祭になったと感じました。来年は少しでも制限がなくなり、全員で楽しめる体育祭になればいいと思います。このコロナ禍をみんなで乗り越えていきましょう。大高生ならさっさと大丈夫!

オープンスクールを開催しました!



令和3年7月29日(木)、「大村高校オープンスクール」を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に講じた中、約500名の中学3年生に参加していただきました。大村高校の学校説明、在校生による学科紹介、各教科が設けた体験授業、家政料の実習などを通して、大村高校のことをこれまで以上に知ってもらった良い機会となりました。

参加していただきましたみなさん、暑い中ありがとうございました。